



SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム
社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築

2023年度 提案募集に向けたワークショップ

「どのような時に人は孤立・孤独に陥るの？」

その一次予防の仕組みを考える」

2023年3月29日

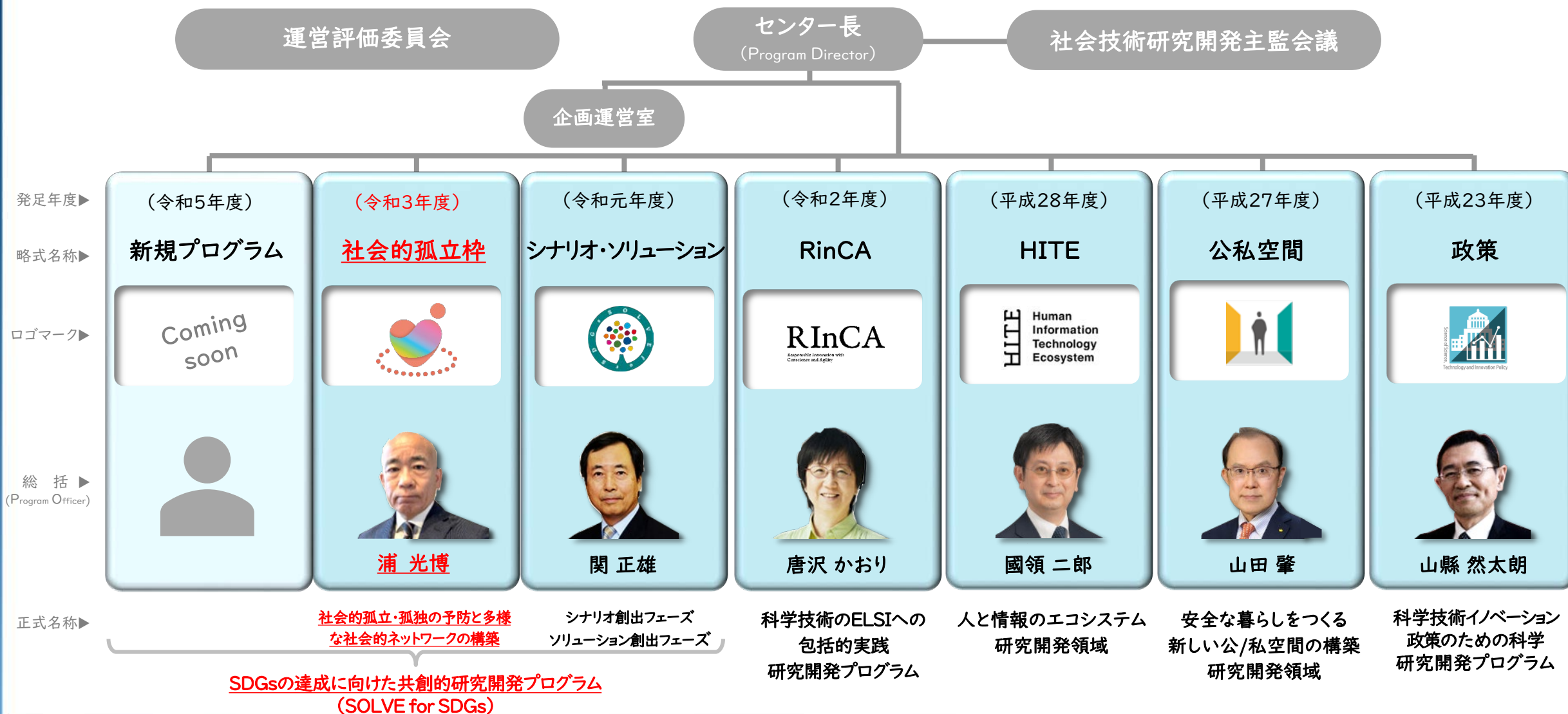


科学技術振興機構

RISTEX体制 (2022~2023年度)



SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム
社会的孤立・孤独の予防と
多様な社会的ネットワークの構築



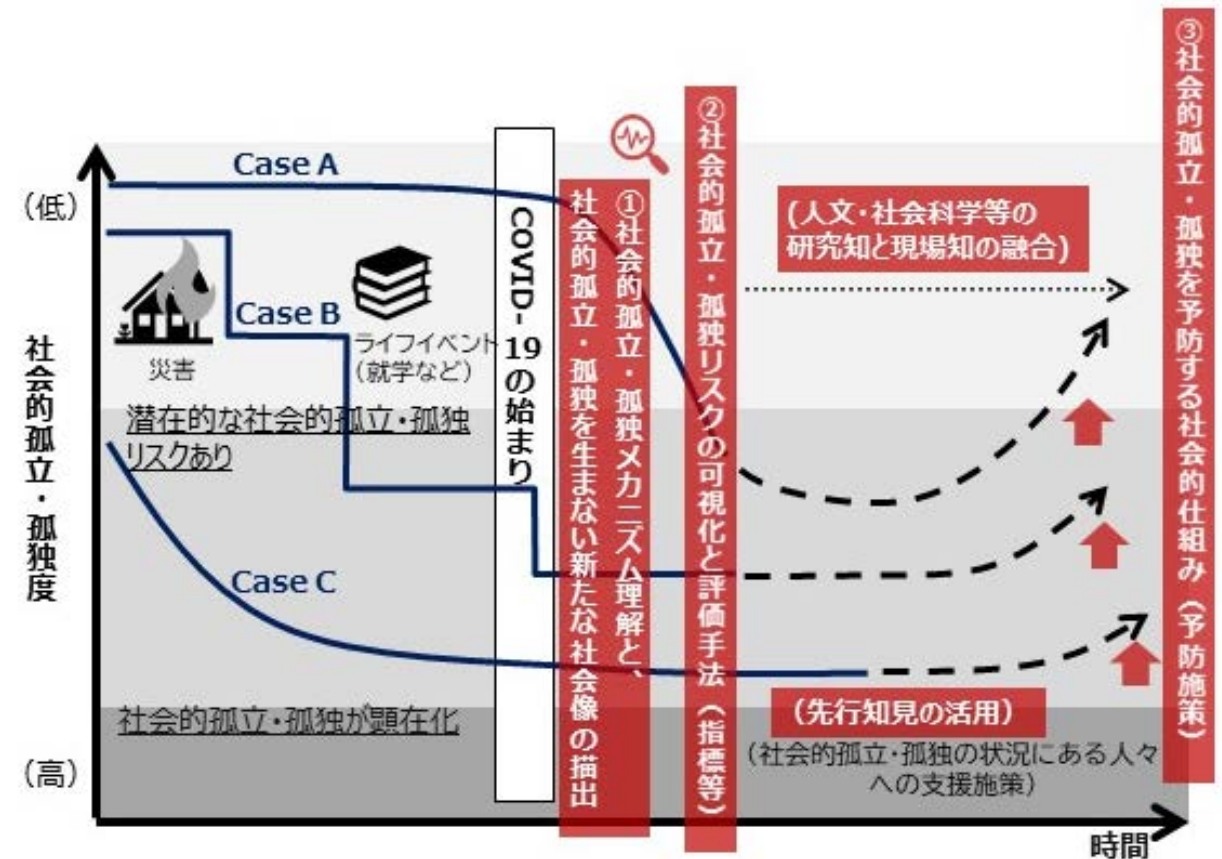
3つの研究開発要素の一体的な推進



SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム
社会的孤立・孤独の予防と
多様な社会的ネットワークの構築

■ 右図①②③の研究開発要素を含めた一体的な研究開発を推進。

■ 概念的な研究にとどまることがないよう、特に研究開発要素③においては、社会的孤立・孤独を予防する仕組みを実証するための施策現場（国内の特定地域や、学校、職場、コミュニティなど）を具体化することが求められます。



Case A: 社会的孤立・孤独とは無縁だったが、COVID-19をきっかけに社会的孤立・孤独リスク増加
Case B: 災害/ライフイベントをきっかけに社会的孤立・孤独リスクが徐々に増加し、COVID-19より更に悪化
Case C: 所与の環境・障害により、例えば幼少期から社会的孤立・孤独リスク高
 「厚生労働省、社会的排除にいたるプロセス～若年ケース・スタディから見る排除の過程～概要（内閣官房/内閣府提出資料）、第8回社会保障審議会生活困窮者の生活支援の在り方に関する特別部会資料（平成24年9月28日）」を参考に、RISTEXにて作成

本プログラムの目指す社会的孤立・孤独の“一次予防”



SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム
社会的孤立・孤独の予防と
多様な社会的ネットワークの構築

- 社会的孤立・孤独に陥る主体を取り巻く環境や状況に関連する情報から社会的孤立・孤独状態に陥るリスクを**可視化して測定**し、これに基づき**社会的孤立・孤独を予防**
- 顕在化した社会的孤立・孤独の状態にある人々への支援施策等に係る先行知見を活用しながらも、社会の構成員全体を対象にして社会的要因の改善を目指し、そもそも社会的孤立・孤独を生まない**社会的仕組みを創る**という、抜本的な予防としての**一次予防を重視**
- 社会的孤立・孤独の個人的なリスクのみならず、**社会の集合的な帰結**に対する取り組みを期待



本日のワークショップの目的について

●本プログラムでは、すでに社会的注目度の高い社会的孤立・孤独について、事態が悪化することを防ぐことのみならず、社会的孤立・孤独を社会全体の問題として捉え、そもそも社会的孤立・孤独を生まない社会的仕組みを創るという、**抜本的な一次予防**を重視しています。

●そのためには、
人はどのような時に社会的孤立・孤独に陥るのか？
そうならないためにはどのような社会的仕組みが必要なのか？
という根本的な問いに対し、**社会の多様な立場の人が一緒に考える必要**があります。

本日のワークショップと公募の位置づけに関する留意事項



SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム
社会的孤立・孤独の予防と
多様な社会的ネットワークの構築

- 本ワークショップで取り上げる個別ケースはあくまで一つの事例であり、必ずしも本プログラム公募にて重視しているテーマという位置づけではございませんので、あらかじめご理解いただきますようお願いいたします。応募にあたっては、公募開始後、必ず2023年度の公募要領をご参照ください。
- 本ワークショップへの参加の有無は、社会的孤立枠の公募審査結果に影響いたしません。
- 本ワークショップは公募説明会ではございませんので、公募に関するお問い合わせは<boshu-koritsu@jst.go.jp>をお願いいたします。

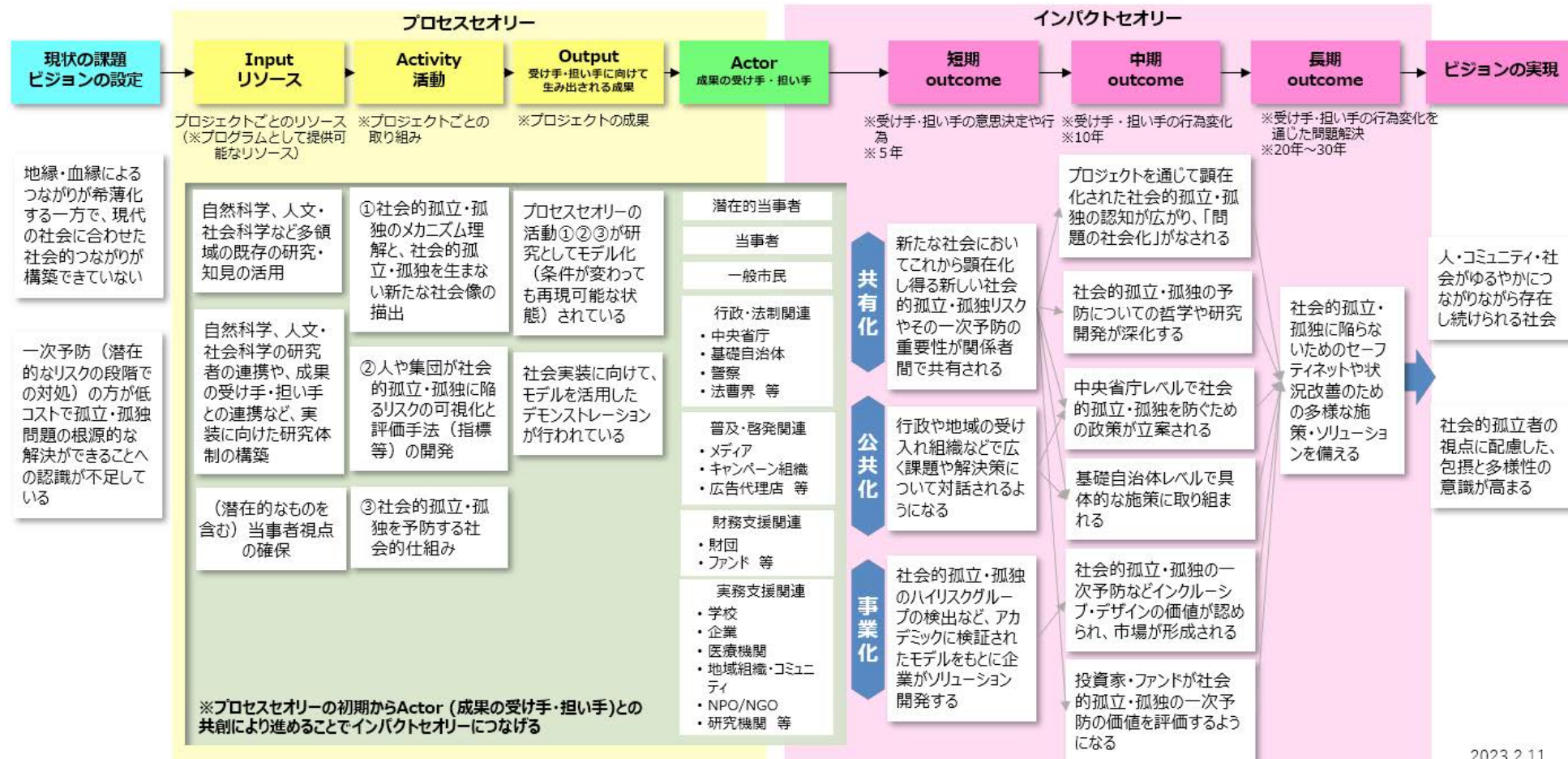
(参考)プログラムのロジックモデル

<https://www.jst.go.jp/ristex/koritsu/program/outline.html>



SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム
社会的孤立・孤独の予防と
多様な社会的ネットワークの構築

SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築） ロジックモデル



2023.2.11

※本図は、本プログラムのビジョンや、ビジョンを実現するまでの過程を仮説として示したもので、プロジェクト参加者や多様なステークホルダーとの議論や、新たに得られた知見などに基づき、今後も必要に応じて改訂していくことを企図する。